

JA自己改革〈PART⑥〉 「なくてはならない組織」へ自らを変える JA美馬〈組合員のための3つの改革〉

おいしいけんく〜
「かあちゃん野菜の生産」

四国初の取り組み!
「大麦若葉の生産」

役員員一丸となって!
「JA美馬の経済事業改革」

「かあちゃん野菜」はJA美馬の主婦営農班が生産・販売しているブランド品目。その特徴は少量多品目。元々は家庭菜園など出荷用としては生産していなかった野菜を、「農家の主婦の方々にJAに出荷していただき安全・安心なおいしい野菜を消費者の方に食べて貰う」をコンセプトに独自のブランドとして確立しました。現在では阪急百貨店にて売場を確保するに至りました。



平成28年度から開始したのが耕作放棄地を利用した「大麦若葉」の生産です。大麦若葉を本格的に栽培するのは四国では初となります。

JAおよび各関係機関連携のもと市場関係者からの意見を参考にしながら常に新しい品目を捜すと同時に、栽培技術の向上と重点品目の安定出荷を目指し日々職員宅への訪

大麦若葉は米や野菜の裏作品目として注目されており、生産の主担当となるのはJA美馬の子会社である農業生産法人「(株)アグリサポート美馬」。農作業受託を主とする同



イベントや直売所の情報を掲載しています!

公式Facebookページ
JAグループ徳島 検索



問活動と新規班員の拡大運動を展開しています。

また、加工場についても閉鎖していたつるぎ町の製茶工場を改修したものを使用します。今後は計画栽培により栽培面積を拡大し協力農家の新規開拓を行っていく予定です。

内の農業振興の拠点」となるべく運営を行っています。産直市「ふれあいセンター」も新鮮さや清潔さ、明るさをモットーに、生産者と利用者とのふれあいの場となるよう職員、スタッフ一同明るい店舗作りに努めています。JA美馬では今後、配送体制の効率化や更なる予約購買の強化、また営農渉外体制の充実を図り、組合員や利用者

JAアグリあなんへJGAPへの取り組み

2020年の東京オリンピック・パラリンピックが近づき、食品への更なる安全・安心が求められている中、JAアグリあなんのすだち部会は、県内初となる「JGAP団体認証」取得に向けた取り組みを開始しました。同部会は県内随一のハウスすだちの生産量を誇る産地であり、本県におけるすだちの年間供給体制の走りであることから、露地すだちのJGAP取得への波及にも期待が持たれています。



9月3日に同JAで取り組みにかかる決起集会を開催し、部会員・関連組織から62名が出席しました。北條春樹部会長は「消費者に選ばれ、安全・安心な農産物を届けられるよう取得に向けて取り組みます」と決起宣言を行いました。

また、本取り組みにあたっては、JAグループ徳島の独自支援策である担い手・応援プログラムを活用し、徳島県の協力のもと進めています。

「JGAP (Good Agricultural Practice) J-Ver.」

「農業生産工程管理」とも呼ばれ、農産物(食品)の安全を確保し、よりよい農業生産を実現する取り組みです。また第三者がその取り組みを確認し認証を行う制度があり、グローバルGAP、AS-IAGAP、JGAP、県版GAP等があります。

「JGAP」とは?

日本発の認証制度で、「日本の良い農業のやり方」とも訳されます。120以上の基準項目が設けられており、認証された農場は基準を守った適切な管理の下で経営を行っています。JGAP認証は、安全・安心な農産物を育てる農場の目印と言えます。

JA名西郡の加工品
「梅シロップ2本セット」を
合計5名様に
プレゼント!!



応募期間 2018年10月1日(月)~10月10日(水)当日消印有効
応募方法 ハガキに住所、氏名、年齢、電話番号、JANEWSやJAファーマーズマーケット、JA加工品への感想・要望などを記載のうえ、下記の宛先までお送りください。また当選者の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。
宛先 〒770-0011 徳島県徳島市北佐古一番町5番12号 JA徳島中央会 プレゼントキャンペーン係

※本キャンペーンにより取得したお客様の個人情報は、賞品の抽選および賞品の発送のみに利用いたします。